

「きさいち植物園ファンクラブ」設立の趣意書

緑豊かな交野市、多くの方がそうした思いでこの地に住まいされていることと思います。しかし近年は大阪のベッドタウンとして宅地化が進み、緑地も少なくなってきました。大きな第二京阪国道も開通間近です。隣の枚方市で昨年日本一の暑さを記録したのは緑を失った事と無関係ではないでしょう。交野市の貴重な緑地の主なものに府民の森のほしだ園地とくろんど園地、交野いきものふれあいの里、鎮守の森、そして大阪市立大学理学部附属植物園があります。

植物園は敷地面積 25.5 ヘクタール、交野市の面積の 1% を占める緑地です。京阪私市駅から徒歩約 6 分、子どもたちや高齢者、ハンディのある方々にも手軽な憩いの場となってきました。春と秋には遠足の子もたちで賑わいです。訪れた人々が帰りには皆笑顔になっているのは森林や緑や花々の持つ癒しの力によるのでしょう。

近くに住む方は「30 年前にはキジヤリスがいたし、子どもたちがいつも楽しく遊ぶ場所だった。それにここは植物園が近いので涼しいの・・・」と話しておられます。交野市、とくに私市にくらす人々にとっては水や空気と同じように「いつもそこにあった」植物園。今も数々の昆虫やクモ、小動物、鳥たちがすんでいる生き物たちの楽園なのです。近くを流れる七夕伝説ゆかりの天野川の水が植物を養っています。

植物園には開設から 60 年近くを費やして作られてきた日本の代表的な 11 の森があります。いながらにして日本の北から南までの森を見ることができるのは日本中でもこの植物園だけです。命名者の三木茂博士ゆかりのメタセコイアの並木、メイン園路の両側に広がる日本に自生する樹木の見本園、ウメやサクラ、ムクゲやキョウチクトウなどのコレクション、絶滅危惧種の水生植物、先人たちが苦勞して収集・維持してきた温室植物など、どれもいったん失われたら二度と手に入れることはできません。

また植物園は大阪市立大学の附属機関として日本人学生・大学院生だけでなく海外からも沢山の留学生を受け入れています。彼らが慣れない日本での暮らしにとけ込めるよう、私市を中心とした市民のネットワークで温かくサポートし、留学生もまた日本のお母さん・お父さんと呼んで草の根の交流が繰り広げられてきました。めでたく博士号を取得し帰国した彼らはそれぞれの国で専門知識を生かして活躍しています。植物園はそんな彼らの母校でもあります。

残念なことに大阪市の財政上の問題などから植物園の将来が心配されています。植物の基礎研究の場としてはもちろん、これからの時代には市民が自然生態系の大切さや、環境問題を学ぶ場として、またいつでもふらりと訪ねることのできる場所として、貴重な森の植物園です。植物園のシンボルとも言える大クスノキ、幹まわりが 4m をこえるこのクスノキは試算によれば約 14000kg の二酸化炭素を固定・貯蔵しています。さらにこれだけの二酸化炭素を固定するのにともない副産物として酸素を約 7800 m³ 放出しています。これは人の呼吸に換算すると 1 人が約 10 年間に吸収する酸素の量に、また約 14 年間に排出する二酸化炭素に匹敵すると試算されます(*)。見事に成長した植物園の森は二酸化炭素の貯蔵庫として地球温暖化の防止に貢献しています。私たちが緑の地球で生きて行けるのも植物から酸素のプレゼントがあるからです。

こんな貴重ですばらしい植物園をまるごと子どもたちの世代に残したく、微力ながら私たち市民にできることを模索してまいりたいと考え、ここに「きさいち植物園ファンクラブ」を立ち上げることにいたしました。私たち自身が植物園の魅力をよりよく知って、1 人でも多くの方に植物園のファンとなっただけけるよう、活動を進めてまいります。どうぞ皆様のお力を貸してください。

(*) 酸素吸収量は安静時を想定、二酸化炭素放出量は各種試算のうち最大値を適用。なおクスノキも呼吸により酸素を吸収しているので、実際に人が利用出来る量はこれより少ない。

2007 年 8 月 18 日 「きさいち植物園ファンクラブ」事務局

呼びかけ人：丸田道子、中西伊都子、辻井房子、菊川（池田）法子、早川光俊、西野敏恵、植松千代美、金井良輔、藤永のぶよ、阪本美知子・訓人、加藤徹子・三三男、貴田須美子、手塚美子、鶴田廣巳、山田裕子、岡田真由美、久保貴裕、中田仁公、西川喜朗、中村寿子・毅、久門佳子、三谷真美子、黒田民子、小川氷見子、碓寿子、別所訓子・義将、緒方あでのしん、野田隆治、村木安二郎、岡林秀幸、野崎尚夫、岸本節子、松下光進、塩飽敏史、鈴木志奈子、井本晴子、梶田孝、上田敏幸、原道子、松村正邦、末次和子、渡邊省三、山本光二、吉井秀一、新庄光代、栗田素子、上田幸夫、鍛冶睦子、坂本キエ子、谷村久栄、市川悦久、亀井一子、栗原俊子、杉尾文子、宮本富夫、綱本守・美喜子、廣瀬平四郎、南浦雅子、田口周平、酒谷志摩子、私市三千代、庵原悟、庵原トシエ、三木裕美子、上島榮枝

2010 年 9 月 3 日